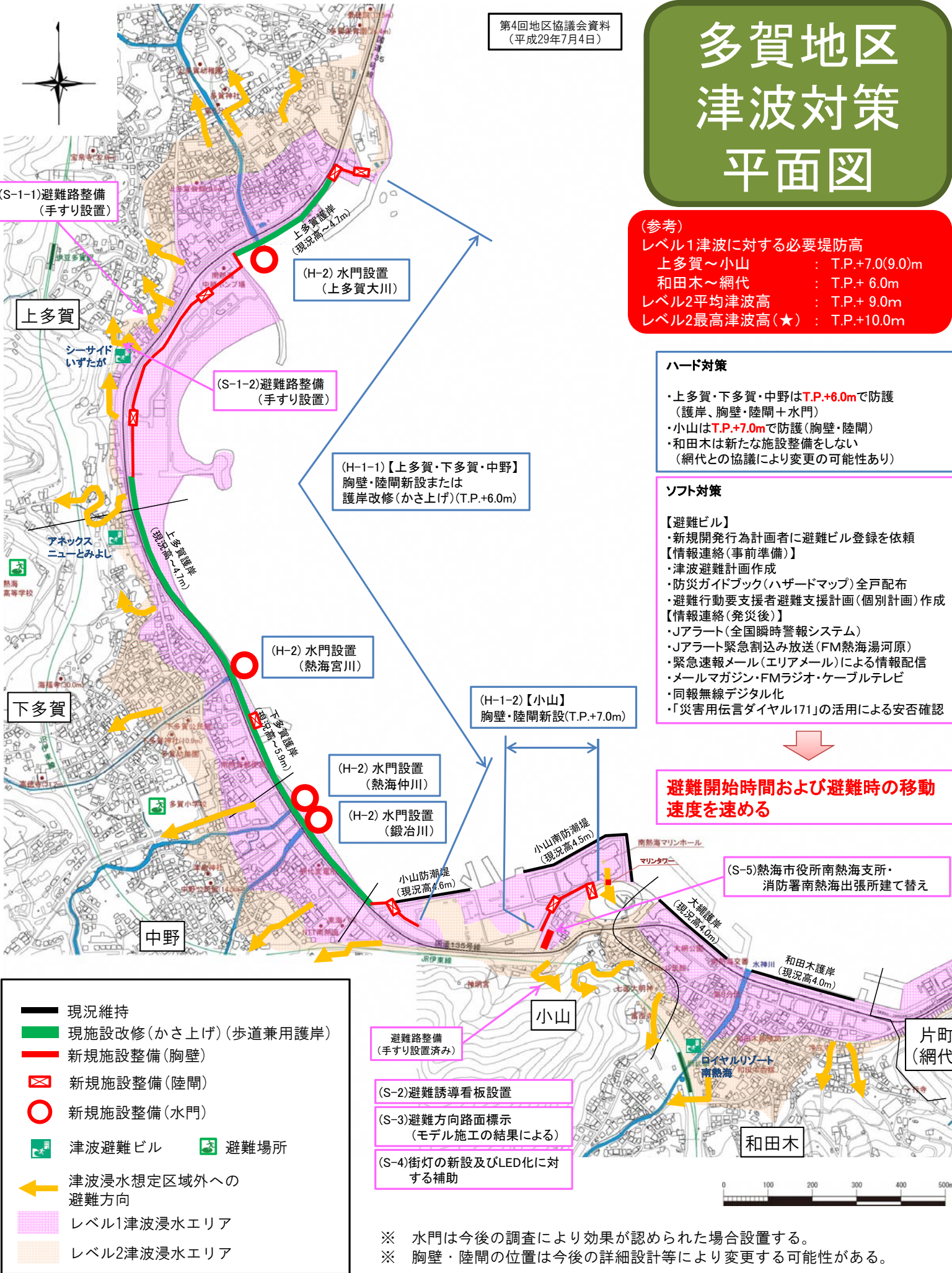


多賀地区 津波対策 平面図

(参考)
レベル1津波に対する必要堤防高
上多賀～小山 : T.P.+7.0(9.0)m
和田木～網代 : T.P.+ 6.0m
レベル2平均津波高 : T.P.+ 9.0m
レベル2最高津波高(★) : T.P.+10.0m



ハード対策

- ・上多賀・下多賀・中野はT.P.+6.0mで防護(護岸・胸壁・陸間+水門)
- ・小山はT.P.+7.0mで防護(胸壁・陸間)
- ・和田木は新たな施設整備をしない(網代との協議により変更の可能性あり)

ソフト対策

- 【避難ビル】
- ・新規開発行為計画者に避難ビル登録を依頼
- 【情報連絡(事前準備)】
- ・津波避難計画作成
 - ・防災ガイドブック(ハザードマップ)全戸配布
 - ・避難行動要支援者避難支援計画(個別計画)作成
- 【情報連絡(発災後)】
- ・Jアラート(全国瞬時警報システム)
 - ・Jアラート緊急割込み放送(FM熱海湯河原)
 - ・緊急速報メール(エリアメール)による情報配信
 - ・メールマガジン・FMラジオ・ケーブルテレビ
 - ・同報無線デジタル化
 - ・「災害用伝言ダイヤル171」の活用による安否確認

避難開始時間および避難時の移動速度を速める

(S-5)熱海市役所南熱海支所・消防署南熱海出張所建て替え

- (S-2)避難誘導看板設置
- (S-3)避難方向路面標示(モデル施工の結果による)
- (S-4)街灯の新設及びLED化に対する補助

※ 水門は今後の調査により効果が認められた場合設置する。
※ 胸壁・陸間の位置は今後の詳細設計等により変更する可能性がある。